

防災 防犯 安全

ひとくちメモ

【家具の固定は家族の身を守ります】

防災まめ知識

～家具固定の重要性～

地震によるけがの原因は「家具などの転倒によるもの」が阪神淡路大震災では48.5%、新潟県中越地震では41%という結果が出ています。地震の発生を防ぐことはできませんが、被害を最小限にするための準備はできます。家具の固定をして、自分と家族の安全を守りましょう。

費用 市が家具の固定費用の6分の5を負担します。個人の負担額は下表のとおりです（1世帯6台まで）。

固定台数	個人負担額
2台	1,600円
3台	2,500円
4台	3,300円
5台	4,100円
6台	5,000円



3月25日に発生した能登半島地震の被害状況調査を、3月27日～29日、防災課職員が行いました。住民の方に話を聞くと「地震が起こった時は、外出していては無事だったが、家に戻ると家具や電化製品が転倒、散乱していた。家の中にいる時に地震が起こったことを考えると身震いがする」と語っていました。地震はいつ起こるか分かりません。市では、家具などの転倒を防ぎ、被害を軽減するために、家具の固定事業を行っています。

対象 市内在住の方
対象となる家具 住宅内のたんす、食器棚、テーブル、冷蔵庫など

申込方法 市役所2階防災課防災係または、支所2階市民サービス課総務係、市内公民館にある申請書に必要事項を記入して、ファクスまたは、郵送でお申し込みください。

市ホームページ (<http://www.city.takuroi.shizuoka.jp/>) から電子申請したり、申請書をダウンロードしたりすることもできます。

④ 防災課防災係 ☎ 44 3108
FAX 43 2132

⑤ 市民サービス課総務係 ☎ 23 9211
FAX 23 4867
〒437 1192 袋井市浅羽支所



レッツ・エンジョイ
Let's Enjoy EcoLife
エコ ライフ
～古紙をリサイクルしよう～

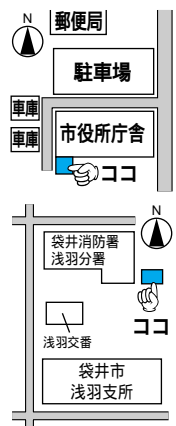
④ 環境政策課環境衛生係 ☎ 44-3115

「リサイクルできる紙がごみになっていませんか？」
皆さんの家庭から出る燃やせるごみのうち、50%以上が紙・布類です。燃やせるごみを減らすためにも、地域の集回収や古紙回収ボックスを活用して、紙類の再資源化をしましょう。

メモ用紙や包装紙などの小さい紙は、散らばらないように封筒に入れて出しましょう。

小中学校PTA、子ども会、祭青年などの集団回収

新聞紙 広告紙 雑誌
段ボール 牛乳パックなどに分け、紙ひもで十文字に縛って、集団回収に出してください。



クリーンセンターでのコンテナ回収

新聞紙 広告紙 雑誌 段ボール
牛乳パックを回収するコンテナを常設しています。紙ひもで種類ごとに縛って、持ち込んでください。

日時 月・金曜日：午前9時～午後4時30分 土曜日：午前9時～正午（祝日は持ち込めません）
場所 クリーンセンター

NPO法人たすけあい遠州の回収

上質紙（カタログ、広告紙、教科書、牛乳パック、酒パックなど） 新聞紙・黄色の紙 雑誌 段ボールを回収します。紙ひもで種類ごとにおおむね5kgに縛って、持ち込んでください。

上質紙5kgまたは、新聞紙15kgにつき、トイレットペーパー1個と交換します。

市役所駐車場
毎月第4土曜日 午前9時～11時
ジャスコ袋井店駐車場
毎月11日 午前10時～11時

市役所・支所の古紙回収ボックス

新聞紙・ちらし 雑誌・菓子の空き箱 段ボールの回収ボックスを常設しています。紙ひもで種類ごとに縛って、持ち込んでください。

日時 毎日（年末年始は除く）午前8時30分～午後5時